

生利資本	固定資本額ノ内	百六十
	官設鐵道用品資金額	四六、三一七、四一七、四九一
	据置運轉資本額	二、〇五〇、〇〇〇、〇〇〇
	計	二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
不生利資本	固定資本額ノ内	四八、五六七、四一七、四九一
	公債金歳出ニ屬スル未精算物品代	一五、五四八、九五六、六二六
	改良費ニ屬スル概算渡ノ内未精算物品代	二八三、八九三
	計	一、四八七、三三五、一九六
		一七、〇三六、五七五、七一五

今生利資本中固定資本四千六百三十一萬七千四百十七圓餘ノ内讒ヲ掲クレハ東海道及信越線ニ屬スル費用トシテ決算シタルモノ(改良費中車輛費ニ屬セサル決算額ヲ除ク)四千五十萬九千七百七十圓餘建設部及青森金澤兩出張所等ニ於テ建設費トシテ決算シタルモノ五百六十一萬二千七百七圓餘興羽及北陸線補充費トシテ決算シタルモノ十一萬二千三百三十圓餘品川西南線及神奈川程ヶ谷間線路ノ價格ハ萬五千三百九圓餘ナリトス又不生利資本ニ屬スル固定資本千五百五十四萬八千九百五十六圓餘ノ内三百六十四萬九百十八圓餘ハ改良費ノ決算額(車輛費ヲ除ク)ニシテ其ハ本開業線ニ係ル建設費ノ決算額ナリトス

第八節 收益勘定

營業收支 本年度ノ營業收入ハ九百七十二萬七千四百八十九圓餘營業費ハ四百七十八萬六千四十八圓餘差引益金ハ四百九十四萬四千四十一圓餘ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ營業收入ハ百四十五萬三千八百三十七圓餘即チ一割七分六厘ヲ營業費ハ九十七萬三千八百八十五圓餘即チ二割五分四厘ヲ益金ハ四十八萬三千四百五十二圓餘即チ一割八厘ヲ増加セリ而シテ營業費ノ營業收入ニ對スル割合ハ四割九分二厘ニシテ前年度ニ比シ三分二厘ヲ増加セリ然ルニ本年度ハ前年度ニ比シ物價工賃共ニ一層暴騰ヲ采シタルト水害彼舊工事ノ爲メ二十三萬餘圓ヲ支出シタルトニ由リ各費途共ニ非常ノ多額ヲ要セシニモ拘ハラヌ収ハニ對スル支出ノ割合僅ニ前記ノ差ヲ見ルニ過キサレハ比較的収入ノ多カリシニ由ルモノナリ而シテ本年度ニ於ケル營業收支金額ヲ區別セハ左表ノ如シ

線種	營業收入				營業費				差引益金	
	客車收入	貨車收入	雜收入	計	保存費	機車費	運輸費	總係費		
東海道線	六四九、八五九、九二一	一八四、三三三、七七七	一〇、〇〇〇、〇〇〇	八三四、一九三、三〇〇	八二七、五六一、六四一	一、七七〇、〇〇〇	九四、三三三、六六八	一〇、七九四、四四四	三、三九六、七〇〇	四、六六六、九九九
信越線	六四、七六六、〇〇〇	三、五〇〇、七七七	七、七六六、〇〇〇	七五、〇三二、七七七	八、九三三、七七六	三、三三三、三三三	二、九〇〇、〇〇〇	一、九三三、三三三	六、〇〇〇、〇〇〇	二、五七三、三三三

線別	平均一日ノ營業收支金額	平均一哩ノ營業收支金額
奧羽線	三二五〇五〇	四六九三〇五
北陸線	二五三〇九八	四八五五〇
計	七四七三三三	一四三〇五三八

營業收支ノ消長 本年度ニ於ケル各線路營業平均一日ノ收支金額及營業線路平均一哩ノ收支金額ヲ算出シ之ヲ前年度ニ比較スル左表ノ如シ

線別	平均一日ノ營業收支金額		平均一哩ノ營業收支金額	
	本年度	前年度	本年度	前年度
東海線	三六九	三〇七	一八八	一五〇
信越線	二四六	二九二	七五七	九二
奧羽線	四九	九六	四六〇	四四四
北陸線	二〇八	五九	一七	一七
平均	二六	二二	一六	一三

北陸線敦賀小松間ノ内稱井小松間三十哩餘ハ本年度九月二十日ヨリ運輸營業ヲ開始セラルニヨリ此平均數ヲ十六哩トシ之ニ敦賀福井間三十九哩ヲ合計セラルモノ即チ五十五哩ヲ以テ同線ノ營業總數トシテ計算シ又同線ノ平均日數ハ右ノ

事由ニ因リ二百九十日ヲ以テ計算セリ又本年度末現在開業總哩數ハ六百六十五哩ナルモ營業平均哩數ハ六百五十一哩ナリ
又開業總哩數ヲ各線路ニ區別スル左ノ如シ
東海道線 四四三哩 信越線 一一七哩 奧羽線 三六哩 北陸線 六九哩

又本年度總收入額及總費額ヲ其種類ニ依リテ區別シ各總額ニ對スル割合ヲ算出シ前年度ニ比較セハ左表ノ如シ

種別	鐵道收入種類別割合		總收入ニ對スル各種收入ノ割合	
	本年度	前年度	本年度	前年度
客車收入	七四七三三三	六四八六三三	七六八	七八〇
貨車收入	二四四四四〇	一六二二九四	二二	二〇
雜收	一〇〇〇七	一四三七五	一	一
計	九七七四九〇	八三三六五三	一〇〇	一〇〇

又本年度總支出額ヲ各費目ニ區別シ而シテ其總支出額ト總收入額トニ對スル割合ヲ算出シ

各之ヲ前年度ニ比較セハ左表ノ如シ

種別	本年度		前年度		比較増減	總支出ト總收入トニ對スル各費支出ノ割合	
	金額	割合	金額	割合		本年度	前年度
保費	2,577,700	2.97%	2,974,400	3.22%	△396,700	2.97%	3.22%
運車費	2,277,900	2.64%	1,644,300	1.79%	633,600	2.64%	1.79%
運輸費	2,577,900	2.97%	1,644,300	1.79%	933,600	2.97%	1.79%
總計	4,766,600	5.58%	3,859,000	4.21%	907,600	5.58%	4.21%

表中割合ノ欄右方ニ掲ケタルモノハ總支出ニ對スル割合ニシテ左方ニ掲ケタルモノハ總收入ニ對スル割合ナリ

本表ニ依レハ本年度ノ營業費ハ前年度ニ比シ何レモ増加セサルモノナシ而シテ斯ノ如ク増加ヲ來シタル所以ノモノハ第一本年度ニ於テハ北陸線ノ延長及事業ノ發達ニ伴ヒ機關車運轉並ニ列車走行哩數ノ大ニ増加シタルト第二物價工賃ノ甚シキ暴騰ヲ極メタル等之レカ主因ナリトス今營業收入及營業費ヲ類別シ各適當ノ定率ニ依リ其單位ノ金額ヲ掲ケ最近三箇年度ノ分ニ對比スル左表ノ如シ

年度	營業哩數	平均營業一哩ノ收入金	
		客車收入	貨車收入
三十一年度	6,551	2,246	3,544
二十九年度	6,333	1,035	2,642
二十八年	5,866	1,015	3,379
二十七年	5,666	750	2,556

年度	營業哩數	運輸費		總收支金額	係數
		運輸費	運輸費		
三十一年度	6,551	6,265,700	9,666,800	14,533,500	9.79
二十九年度	6,333	5,666,000	8,299,900	12,093,300	9.79
二十八年	5,866	5,450,500	7,873,900	11,095,700	9.79
二十七年	5,666	4,965,800	5,766,800	8,001,000	9.79

又本年度水害復舊工事費ハ既二前二述フルカ如ク非常ノ多額ニ達シタリ今其内譯ヲ示シ之ヲ前年度ニ比スレハ左表ノ如シ

線路種別	復舊工事費		計
	支出未清額	支出未清額	
東海道線	六、四八六、八六〇	一、六〇七、五九〇	六、〇三三、三三〇
信越線	六、九二二、八九五	一、九七〇、〇〇〇	三、〇三〇、八八三
奥羽線	一	一	一
北陸線	四、八四六、六六〇	一	八、七五〇、〇〇〇
計	三、九三三、三三〇	二、〇〇〇、〇〇〇	三、〇三三、三三〇
前年度	三、八九六、六六〇	一、九三三、三三〇	三、〇三三、三三〇
比較増減	三、八九六、六六〇	一、九三三、三三〇	三、〇三三、三三〇

益金 本年度ニ於ケル作業益金四百九十四萬四千四百一十一圓餘及官設鐵道用品資金益金二千六百十二圓餘ヲ合計シ本年度末資本總額六千五百六十萬三千九百九十三圓餘並ニ生利資本額四千八百五十六萬七千四百十七圓餘ニ對シ各其割合ヲ求メ之ヲ前六箇年度ト對比セハ左表ノ如シ

年種別	純益割合	
	總資本額ニ對シ	生利資本額ニ對シ
三十年度	〇、七五	一、〇二
二十九年度	〇、八七	〇、九九
二十八年度	一、一一	一、二三
二十七年度	〇、八五	〇、九一
二十六年度	〇、八七	〇、九五
二十五年度	〇、六四	〇、七二
二十四年度	〇、四六	〇、五一

本表ニ依レハ本年度ノ總資本ニ對スル純益ノ割合ハ前年度ニ比シ減少セリト雖モ生利資本ニ對スル割合ハ増加セリ其總資本ニ對スル割合ノ減少シタル所以ハ本年度ニ於テハ未開業線ニ對スル建設費ノ決算額前年度ニ比シ多額ナリシニ由レリ
又年々總資本増加ノ度ト總收入増加ノ度トヲ對比シ前六箇年度ニ於ケル資本勘定ノ収益勘定ニ及ホス結果ヲ示サンカ爲メ各前年度ヨリ増加シタル哩數及金額並ニ其割合ヲ示シ之ヲ比較セハ左表ノ如シ

資本及収入増減割合

年 度	營業増加	總資本増加	資本増減割合	總収入ノ増減	總収入ノ増減割合	總資本ニ對スル總収入ノ割合
二十三年度	三〇	一四、三、九、五〇	二七、八	一四、五、八、八〇	二七、六	一四、八
二十九年 度	四	五、五、四、三二	一、二〇	三、九、四、八	〇、三、四	一、六一
二十八年 度	三	三、四、七、九	〇、七、四	三、八、四、〇	三、七、五	一、七、五
二十七年 度	三	三、〇、九、四、七	〇、七、三	四、四、五、八	〇、八、一	一、三、六
二十六年 度	七	二、〇、三、二、五	〇、五、四	八、〇、八、三	一、七、五	一、三、六
二十五年 度	一	九、七、三、五七	〇、二、七	四、七、四、九一	一、一、四	一、二、三
二十四年 度	一	一、六、一、四、六	〇、四、六	一、〇、六、五五	〇、〇、四	一、一、三

本年度収益勘定ノ益金八四百九十四萬千四百四十一圓餘ニシテ受拂勘定ノ部ニ掲出セル益金四百五十五萬八千五百六十四圓餘ニ比シ三十八萬二千八百七十六圓餘ノ増差アリ其理由ハ各計算法ヲ異ニスルカ爲メニシテ其關係ヲ説明スル左ノ如シ
 一事業勘定ニ於テ資産及収入ニ編入スルモ受拂勘定ニ於テハ編入セス並ニ事業勘定ニ於テハ損失ニ立テサルモ受拂勘定ニ於テハ損失ニ立ツルモノ

補充費

前年度収入未済額(工作收入ヲ除ク)
 本年度支出未済額(工作費ヲ除ク)

合計

一受拂勘定ニ於テハ損失ニ立テサルモ事業勘定ニ於テハ損失ニ立ツルモノ並ニ受拂勘定ニ於テハ収入ニ編入スルモ事業勘定ニ於テハ編入セサルモノ
 前年度支出未済額(工作費ヲ除ク)
 本年度収入未済額(工作收入ヲ除ク)

合計

差引事業勘定ノ益金増加額

本年度ニ於ケル鐵道會計上ノ要項ハ以上記述スルカ如クニシテ尚ホ創業以降毎年度ノ營業收支及年度末現在營業哩數ヲ掲ケ且ツ之ヲ圖示スル左表ノ如シ

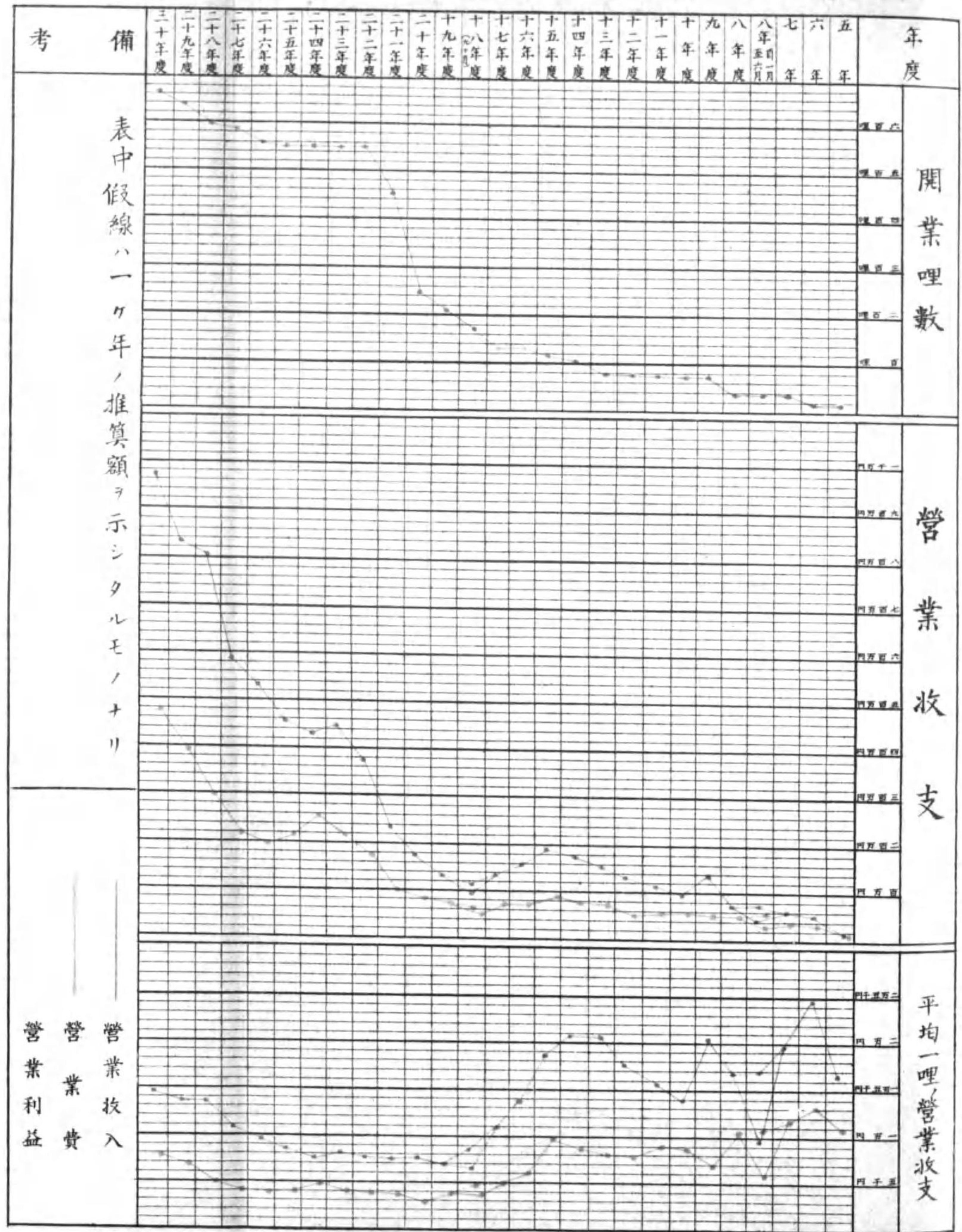
收支一覽

四四三、八三三、八八四
 一四八、五九九、七六三
 四〇四、三〇〇、三八四
 九九六、七三四、〇三一

四七四、七七〇、七八二
 一三九、〇八六、九九八
 六一三、八五七、七八〇
 三八二、八七六、二五一

年 度 種 別	末 日 現 在		平 均 營 業 一 哩 二 對 レ	
	營 業 理 數	營 業 收 入	營 業 收 入	營 業 費 益
五 年 自 六 一 月 年	一八〇〇	一七四九三〇	一六六六	一〇七六五
六 年	一八〇〇	四四一六五六一	二四五三	二一九五
七 年	三二七	五九二七一七九	一九〇五七	一一五二
八 年	三二七	三五八八五九三	九三三七	五四二
八 年 至 六 一 月	六二七	六四四九一八八	一〇五三	六二七
九 年	六二七	一八四四七〇八	二〇四六	六九五
十 年	六二七	九二〇三六六七	一三九五	八〇九
十 一 年	六二七	一〇一七七八四	一五五三	八五三
十 二 年	七三三	一四三三三三七	一七三二	七〇〇
十 三 年	七三三	一五五七七七六	二〇六〇	七六七
十 四 年	一〇〇六	一七三九〇〇七	二〇四九	八〇六
十 五 年	一〇〇六	一八四三三三〇	一七九三	九〇六
十 六 年	一三五五	一五六四九六七	一三四九	五四〇
十 七 年	一三五五	一五三六八〇〇	一〇八四	四八七
十 八 年	一六七六	八九六一〇三六	一六四六	三二七

十 九 年 度	二八六四	一〇〇二二八九五	六三九九九八	六七八二四〇七	六六七四	三三九六	三四七八
二 十 年 度	二四四〇	一六九八七三六八	六七二四四六	一〇二七四四四	七〇〇九	二八七三	四三六
二 十 一 年 度	四四五一	二二三八二〇三	九七五五三六	一三四六三五六	七〇〇四	二九九	四〇五
二 十 二 年 度	五五〇四九	三七七二六九七五	一六三三〇五七	二〇八二三一八	七〇五五	三二二	三九四三
二 十 三 年 度	五五〇四九	四二三八〇四〇五	二〇〇二七三〇九	二二二五三〇九六	七六五三	三六五	四〇八
二 十 四 年 度	五五〇四九	四二一〇一四七五	二四三六九九五三	一六三三四二四三	七四六五	四四〇八	三〇七
二 十 五 年 度	五五〇四九	四五六〇六三三四	二六六一九九〇二	二二四四三四〇	八三九	三九四	四三五
二 十 六 年 度	五五七四九	五三八四四四七六	二九四二七五三	三三四〇九四〇	九六五	三四八三	六七三
二 十 七 年 度	五〇六九	五八八九四二〇四	二二八六六〇九	三三七七六九五〇	一〇四三	三九〇八	六五二
二 十 八 年 度	五九三三	八〇四三三五七六	二九五二五六	五〇五二六三四〇	一三四四	四九五八	八四七
二 十 九 年 度	六三六二	八二七三六五八五	三八五六三二八	四四七九八八七七	一三〇六	六〇四〇	七〇五
三 十 年 度	六六六五	九七七四八六六	四七六〇四八五九	四九四二四二〇七	一四六九	七二三	七四六



收支高低表

第十六款 職員及使用人

本年末度ニ於ケル職員及使用人ノ現在ハ勅任五人奏人六十三人判任千三百六十六人雇二千四百四十九人屬托員一人傭外國人三人使用人一萬三千四百九十六人此給料月額額二十一萬七千四百十二圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ勅任二人奏任五人判任百七十七人雇員三百九十八人屬托員一人使用人二千五百二十四人ヲ増加シ傭外國人ニ於テ二人ヲ減少シ又給料月額額ニ於テ五萬五千九百十五圓ヲ増加セリ而シテ斯ノ如ク著シキ増加ヲ來シタルハ本年度ニ於テ事業ノ擴張ヲ圖リタルト官制ヲ改正セラレタルトノ結果ニ由ルモノニシテ今之カ詳細ヲ舉クレハ左表ノ如シ

官 種 別	本 年 度		前 年 度		比 較 増 減	
	人 員	給料月額	人 員	給料月額	人 員	給料月額
勅 任	一	三三圓	一	一圓	—	三三圓
奏 人	四	一〇八圓	三	九三圓	一	一五圓
判 任	五	一四二圓	三	七三圓	二	六九圓
雇 員	—	—	—	—	—	—
屬 托 員	—	—	—	—	—	—
傭 外國 人	—	—	—	—	—	—
使 用 人	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—

用																	
石炭夫	給水夫	諸車掃除夫	火夫見習	諸火方	機開方	試番備	諸番人	驛夫役	驛夫世話役	諸取締	ボリスメン	アレーキメン	ノンパーメン	ヤードメン	トメン	シグナル兼ボイ	ボイントメン
24	50	78	186	496	343	67	67	178	109	55	161	36	50	133	1	354	354
1,148	1,121	6,365	1,881	6,070	8,775	496	3,458	1,267	1,148	605	1,474	303	584	1,635	1	3,445	3,445
22	29	57	19	24	28	1	50	150	101	3	148	5	49	25	3	307	307
83	86	4,433	1,676	3,773	7,465	78	2,257	954	1,096	36	1,346	27	44	138	26	2,711	2,711
3	4	16	3	37	6	5	107	28	7	1	13	1	5	17	3	57	57
266	533	1,733	2,05	2,897	1,110	3	1,101	3,445	1,40	279	38	30	130	297	26	734	734

百七十九

使	備屬雇	官任判			官任奏											
		計	鐵道書記補	鐵道技手	鐵道書記	鐵道技師	鐵道事務官長									
シグナルメン	外托人員	3	1	2149	1266	44	323	740	44	15	41	656	474	1635	208	208
合圖方	外托人員	7	1	1100	3090	5685	20068	6566	4743	1635	208	6566	4743	1635	208	208
改札方	外托人員	24	1	1135	1199	34	175	63	4	1	1	58	44	13	1	1
電信修技生	外托人員	6	1	48	3090	5685	20068	6566	4743	1635	208	6566	4743	1635	208	208
電圖方	外托人員	7	1	1100	3090	5685	20068	6566	4743	1635	208	6566	4743	1635	208	208
シグナルメン	外托人員	6	1	1100	3090	5685	20068	6566	4743	1635	208	6566	4743	1635	208	208

百七十四

人

轉車夫	103	691	6	46	45
列車檢査夫	189	281	16	23	58
列車注油夫	104	998	8	37	36
諸職工	260	4293	25	46	1409
無等職工手傳	495	426	27	26	173
定雇抗夫	23	24	1	3	6
建築工夫組頭	1	1	3	3	6
建築助手	42	857	4	26	293
保線助手	2	1057	9	3	70
線路工夫長	35	946	1	5	96
諸工夫	337	347	29	5	939
線路工夫見習	1	1	5	5	10
筆生	26	274	6	3	33
定雇人足	66	605	3	20	246
仲仕	1	1	5	5	5
守衛	5	58	4	8	17
小使	297	242	26	120	23

×印ハ兼務ニシテ鐵道技監ヨリ之ヲ兼ヌ

馬計	1346	7097	197	10649	234	4413
合計	1703	2742	2376	26147	3105	5595

14
76

明治三十一年九月廿二日印刷
明治三十一年九月廿四日發行

鐵道作業局

印刷者 細井藤十郎
東京市日本橋區通三丁目四番地

印刷所 細井印刷所
東京市日本橋區通三丁目四番地

正誤

二十七頁七行目「字ヲ削除」
六十五頁二行目「テター」ハ「テンドター」ノ誤
七十六頁十五行目「クリュー」ハ「スクリュー」ノ誤
七十七頁八行目「フアイバー」ハ「フアイヤバー」ノ誤
九十四頁一行目「一七三〇」ノ下「七八二」ノ誤
九十九頁十一行目「哩分厘毛」トアルハ「頓分厘毛」ノ誤
百九頁十二行目「六五」ノ下「五八二」ノ誤
諸表目次六頁中「一〇二」トアルハ總テ「一一〇」ノ誤

終

